

感染性胃腸炎について

今年も全国で猛威を振るっている『ノロウイルス』。

ノロウイルスが騒がれ始めたのは2006年冬のことです。当時、広島県、岡山県をはじめ全国に広がりました。池袋のホテルでの集団感染は皆さんの記憶にもあると思います。では、ノロウイルスは2006年以前にはなかった新しいウイルスなののでしょうか？そうではありません。かつて『おなかの風邪』と言われていたものの多くが感染性胃腸炎だと言われています。

ノロウイルスが初めて見つかったのは、1968年アメリカオハイオ州ノーウォークの小学校でした。集団感染した児童の便から検出されたのです。1972年、最初の発見地から『ノーウォークウイルス (Norwalk Virus)』と名付けられました。その後、似たような形のウイルスが相次いで見つかったので、『ノーウォークのようなウイルス (Norwalk-Like Virus)』とか、電子顕微鏡で観察した時の形から『小型球形ウイルス (SRSV)』と呼ばれるようになりました。

また、1977年札幌市の児童福祉施設での集団感染からノーウォークウイルスとよく似たウイルスが発見され『サッポロウイルス』と名付けられています。2002年8月、国際ウイルス学会においてノーウォークウイルスと呼ばれたものを『ノロウイルス (Norovirus)』、サッポロウイルスと呼ばれたものを『サポウイルス (Sapovirus)』とし、世界で統一して使用されるようになりました。

この他にも、感染性胃腸炎を引き起こすウイルスとして、子供に多い『ロタウイルス』(ロタとはラテン語で「車輪」を意味し、ウイルスの形が車輪に似ていることから名付けられました)、『アデノウイルス』(プール熱の原因ウイルスとして有名ですが、このウイルスは40種以上ありその中でも40型、41型が胃腸炎を発症します。アデノイド《咽頭扁桃肥大症》の患者の組織から取り出されたウイルスであることから、名付けられました)があり、症状では見分けにくいとされています。

さらに、全てのウイルスは血清型であり、インフルエンザウイルスのように数種類の型が存在するのです。

『ノロウイルスに対する免疫はあるのか?』という質問をよく聞きます。通常人間にはウイルスに対して免疫があり、1度感染すると半年から2年程度持続すると言われています。しかし、これは同一ウイルスに感染した場合のみであって、このように複数のウイルス・血清型が存在する以上必ずしも同じウイルスに感染するという保障はありません。そのためにも1人ひとりの予防が重要になってくるのです。

亀野園 栄養課 高橋

ボランティア募集

- ・お話し相手
 - ・レクリエーション補助
 - ・散歩付き添い
 - ・洗濯物たたみ
 - ・生活のお手伝い
 - ・入浴介助の補助
 - ・清掃・片付け
 - ・制作物作り など
- ご協力いただける方
お気軽にお電話下さい

介護正職員募集

平成23年度4月採用
基本給 153,100円(専門・短大卒)
163,100円(大卒)
賞与 平均約86万円(22年度実績)
採用試験 平成23年2月18日
お気軽にはお問い合わせ下さい

【お問い合わせ先】野田みどり会法人 本部事務局
電話：04-7121-2131

みどりの風

第23号

野田みどり会 法人理念

- ・入居者様(利用者様)の立場に立った施設
- ・最善のサービスを提供する施設
- ・活力があり経営が健全な施設

平成23年1月発行
社会福祉法人野田みどり会
<http://www.nodamidorikai.or.jp>
○特別養護老人ホーム亀野園
○デイサービスセンター亀野園
○ホームヘルプ亀野園
○特別養護老人ホーム鶴寿園
○デイサービスセンター鶴寿園
○居宅介護支援事業所
○野田市心身障害者福祉作業所
○野田市岩木小学校老人デイサービスセンター
○複合老人ホーム野田市楽寿園
○ゆたけら鶴寿の家

介護巡る新しい変化に備えよう

今年は、平成24年介護報酬改定にむけ具体的な動きが活発になることが予想されます。なかでも、2025年の介護保険像についての動きが始まると思われるので、しっかり、注視していかなければならないと思います。いわゆる団塊の世代が後期高齢期に入る時の介護をどう乗り切るかと言う課題への取り組みです。

要介護者が2009年4月469万人から755万人に増える見込みがあるそうです。これを乗り越えるため、地域包括ケアという支援システムが提唱されています。

在宅ケアを中心にしていこうという発想ですが、概ね次のようなものです。地域コミュニティとして施設に居るとほぼ同じサービスを包括的に提供する。何処にいるかではなく、何処にいても30分以内に、365日、24時間、継続的に安心、安全、健康のサービスが受けられるようにする。その体制は、医療と介護を融合させ自助、互助、共助、公助を組み合わせ提供しようとするもの。

社会福祉法人にも大きな影響があると思いますので、しっかり見守り、対応が遅れないよう常に備えましょう。

理事長 岩井 勝治

健康で長生きをするということ



昭和10年日本人の平均寿命は男性が46.92歳、女性が49.63歳であったのに対し、平成20年には男性が79.19歳、女性が85.99歳となり文字通り男女ともに人生80年時代を迎えたこととなります。この長い人生を豊かで実り多いものとしていくためにみなさんは何かしていますか？現代社会では多くの人たちが、つくられた人工の世界の中に生活しており、運動不足・栄養の偏り・多忙・ストレスなどが避けられない状況の中で生活を強制されているといっても過言ではありません。このような環境が、人々の生活習慣病の温床となっていることは明らかです。1972年にアメリカのプレスローらによって①適度の運動②適度の飲酒③適正な体重の維持④規則正しい食事⑤朝食の摂取⑥たばこを吸わない⑦規則的な7~8時間の睡眠という7つの生活習慣が、人々の健康や長寿と有意に関連することが発表され、これ以降、これらの生活習慣の実施項目数の多い人ほど死亡率が低く、平均生存年数が長いことが報告されました。人々の健康状態と生活習慣の間には強い関連があることが明らかになったのです。

一方、生活習慣病の多くは、その初期において発見することが、予防や治療という点できわめて効果的であるということから、地域や職場における健康診断や各種がん健診などが実施されています。また生活スタイルの欧米化に伴い、脳血管疾患や心疾患が増加する傾向がみられる中で、高血圧対策が重要になっています。認知症にならず、健康で長生きするためには、自らの生活習慣の改善に向けて、なおいっそうの努力が必要であることを意味しています。みなさんも、自分のライフスタイルに目を向け、自分だけは大丈夫なこととさえ考えず、家族のためにも出来ることから始めてみてはいかがでしょうか？

鶴寿園 看護職員 若津



複合老人ホームとは？

複合老人ホームって何ですか？と聞かれることがよくあります。今回はこの楽寿園について説明したいと思います。複合老人ホーム野田市楽寿園は、措置施設である養護老人ホームと、介護保険施設である特別養護老人ホームを同じ建物の中で一体的に運営している、県内でも珍しい形態の老人ホームです。現在は、野田市の指定管理者制度で指定を受け、当法人野田みどり会が管理運営をしております。

そもそも楽寿園の歴史は古く、昭和41年4月に野田市堤台の地に養護老人ホーム定員50床の施設として開所しました。昭和45年には増築工事を行い、定員70名となりましたが、月日が経つにつれて建物の老朽化が進み、また都市計画道路の建築工事に伴い、敷地と建物の一部が道路を予定している箇所に含まれたため、野田市鶴寿の地に移転し、平成11年12月に新施設として開所しました。平成17年1月には予てより計画されていた一部特養化が実現し、養護55床・特養15床の複合老人ホームとして再スタートしています。

建物の3F部分は、ADLがほぼ自立されている養護の方が生活され、2F部分が特養と要介護認定を受けている養護の方のフロアとなっています。養護は基本的に介護サービスを提供する施設では無いため、要介護認定を受け介護サービスを利用したい方は、個人で契約する必要があります。居宅介護支援事業所と日々連携を取りながら、個々の状況に応じた介護サービスの利用を勧めています。

介護保険施設として広く認知されている特養と比べ、養護は一般的に知られていない部分が多いかとは思いますが、今後は社会問題となっている貧困層や生活弱者の受け入れ先として、より大きな役割があるのではと考えています。

楽寿園チーフマネージャー 尾島

社会福祉法人の新会計基準について

ついこの前、今年度上半期の収支・事業報告が済んだと思ったら、今年度も3ヶ月を残すのみとなりました。年度末の声がきこえてくると、そろそろ決算のことが気になってきます。決算といえば、平成24年度より新しい社会福祉法人の会計基準が適用されます。平成21年12月に素案が提示され、昨年11月に改めて変更された案が提示されました。

今までの会計処理は平成12年に施行された、社会福祉法人に適用される「会計基準」と、指定介護保険事業所に適用される「指導指針」という2つのルールがあり、さらに障害福祉サービス事業においては「就労支援事業会計基準」と事業所によりそれぞれ異なる会計ルールにて処理を行なっていることにより、決算書類等も非常に解りづらく、経営状態を分析する上で不都合な部分が多くありました。決算書類には外部への情報公開と経営管理と2つの役割があります。社会福祉法人は、社会経済状況の変化を受け、今後より一層効率的な法人経営が求められる事、また公的資金による経営といった特徴から、経営実態をより正確に反映した形で御利用者やその御家族、職員、行政機関等に対し説明する責任があります。ですから、事業の効率化に関する情報の充実や、事業活動状況の透明化がもためられています。

そこで、現在検討されている新会計基準は事業ごとに異なる基準を統一することで、法人全体の財務状況をより明確にしていくことによって、外部への情報公開や、内部での経営分析に有用な情報を得られるようにとの狙いがあるようです。また、併存する会計ルール解消による事務処理の簡素化、事務職員の負担軽減ということも目的としているようです。今回の改正で、より企業会計に近い形へと変わっていくようですが、素案の段階での変更点をみ限りでは、新たなルールの導入等により簡素化ということには疑問を持ちました。また、決算書類についても、今までよりページ数が増えてしまいそうです。

今後、パブリックコメント等の手続きを経て3月には成案が発表されるようです。平成24年度より新基準移行となり、平成25年度までには全ての法人が移行しなければならないので、遅くともあと2年で内容を理解して、移行の準備を整えていかなければなりません。正直不安ですが、スムーズに移行できるように、日頃から情報収集、研修に参加する等準備をしていきたいです。事務マネージャー 岡野

ホームヘルパーの仕事

チャイムを鳴らすことから、私達ヘルパーの仕事がはじまります。挨拶をして、家の中に入れていただきます。玄関まで出迎えてくれる方、奥の部屋から「どうぞ」と声をかけてくれる方、「何しにきた」と怒る方、全く返事を返してくれない方等、色々な方がいます。家の中に入る時、すごく緊張します。家での生活の中に入って行くのです。

ヘルパーの仕事を簡単に言うと、家に訪問をして家事全般をお手伝いします。掃除・洗濯・調理・買い物・通院等です。お手伝いさんと間違えられてしまうこともあります。お手伝いさんとヘルパーの違いはというと、お手伝いさんは生活全般なんでも行います。ヘルパーは、生活全般をお手伝いしますが、利用者様が自立できるようにお手伝いをする。手伝い過ぎてはいけません。ケアマネージャー様から、ケアプランをもらい、ケアプランに沿った、訪問介護計画書を作成し、ヘルパーが派遣されます。ヘルパーは、サービス手順書に書かれているサービスを行います。お金は、お手伝いさんは全額自己負担、ヘルパーは9割を介護保険(国)が負担をし、1割を利用者様が負担します。

家に行き、サービスを行うことの難しさを、日々感じます。しかし、難しさの反面にはとてもやりがいのある仕事で、勉強になる事も多々あります。素敵な仕事だなど、思います。

ホームヘルプ 亀野園チーフマネージャー 岡田